

# 平成30年度 神栖市男女共同参画 実施状況報告書

事業担当課	計画書での位置づけ		事業の概要		実施計画（事業内容）					2018年の取り組み			指標の検証	
	基本目標	事業番号	事業名	計画期間 (2018～22) での実施区分	2018実施 計画	2019実施 計画	2020 実施 計画	2021 実施 計画	2022 実施 計画	具体的な実施内容			指標(2018～22)	
	重点課題									実施にあたっての課題・問題点			指標項目	目標値
	施策の目標		事業概要		2018実施 計画	2019実施 計画	2020 実施 計画	2021 実施 計画	2022 実施 計画	実施できなかった理由	決算額 (千円)	実施状況	実績	達成状況
	取り組み内容													
市民協働課	I 男女共同参画を推進する意識と環境づくり	1	男女共同参画条例の基本理念を踏まえ、男女共同参画計画に基づき、男女共同参画に関する施策の運用を図る。	継続	男女共同参画計画に基づき、社会情勢にあった事業を推進する。また、取組内容(事業)の進捗を確認するため、事業の成果について市民向けのアンケート調査の準備をする。	継続	継続	継続	男女共同参画事業に関する市の現状やニーズを把握するため、地区・企業連・デートDV防止出前講座・かみず市民フォーラムにおいてアンケートを実施した。	0 実施した	4事業	達成	男女共同参画進捗確認事業数	事業選定
	1. 男女の平等をめざした意識づくりの推進													
	(1) 男女の視点に立った考え方の普及													
	① 男女共同参画を進める意識の普及													
市民協働課	I 男女共同参画を推進する意識と環境づくり	2	男女共同参画に関する情報誌「ハートフルかみず」を定期的に発行し、男女共同参画を進めている人や企業の紹介、男女共同参画を理解するうえで必要な考え方(人権尊重、ダイバーシティも含む)の説明などを掲載し、市民の意識醸成を図る。編集にあたっては、市民編集委員により作成する。	継続	市民編集委員による取材及び原稿作成を行い、市民目線の情報誌を作成する。計画や事業の周知も含め、男女共同参画の進捗につながる内容を掲載する。また、市内公共施設への設置や新聞折込のほか、SNS等、多くの媒体で市民へ情報を届ける。	継続	継続	継続	市民編集委員4人と作成した情報誌「ハートフルかみず」を年2回(8月・2月)各33,500部発行し、新聞折込を行った。また、市内の公共施設(広報スタンド)への設置やホームページに掲載して、市民の意識啓発を図った。	891 実施した	67,000部	達成	発行部数	60,000部/年
	1. 男女の平等をめざした意識づくりの推進													
	(1) 男女の視点に立った考え方の普及													
	① 男女共同参画を進める意識の普及													
市民協働課	I 男女共同参画を推進する意識と環境づくり	3	職員向けに、男女共同参画に係る制度や情報(WLBや育児・介護休暇制度等)を提供し、制度の理解、協力し合う体制づくりに努めるとともに、職員の男女共同参画に関する意識の高揚を図る。	継続	男女共同参画に係る制度や情報(WLBや育児・介護休暇制度等)について、庁内インフォメーション等を利用して職員に周知し、意識啓発に努める。	継続	継続	継続	各課へ講座やかみず市民フォーラムなど男女共同参画の意識を啓発するイベント等について周知した。	0 実施した	2回	達成	情報提供を行う回数	2回/年
	1. 男女の平等をめざした意識づくりの推進													
	(1) 男女の視点に立った考え方の普及													
	① 男女共同参画を進める意識の普及													
市民協働課	I 男女共同参画を推進する意識と環境づくり	4	女性の能力活用や職域拡大、家庭生活等で女性の積極的な活動支援を行っている事業者を表彰することにより、地域における人権尊重、男女平等意識の醸成を図る。	継続	男女共同参画を推進している個人・団体・事業者等を表彰する。また、応募団体が増えるよう、周知方法を工夫するとともに、男女共同参画推進イベントでの表彰式や、情報誌等での紹介を通して、市民の意識啓発に努める。	継続	継続	継続	第12回かみず市民フォーラムにおいて、ワークライフバランスマネジメントへの取り組みを積極的に実施しているJ S R株式会社を表彰した。取組状況などを男女共同参画情報誌、ホームページ等で紹介し、市民の意識啓発に努めた。	12 実施した	1団体	達成	表彰団体数	12団体
	1. 男女の平等をめざした意識づくりの推進													
	(1) 男女の視点に立った考え方の普及													
	① 男女共同参画を進める意識の普及													

事業担当課	計画書での位置づけ		事業の概要		実施計画（事業内容）					2018年の取り組み			指標の検証	
	基本目標	事業番号	事業名	計画期間 (2018～22) での実施区分	2018実施 計画	2019実施 計画	2020 実施 計画	2021 実施 計画	2022 実施 計画	具体的な実施内容			指標（2018～22）	
	重点課題									実施にあたっての課題・問題点			指標項目	目標値
	施策の目標		事業概要	実施できなかった理由	決算額 (千円)	実施状況	実績	達成状況						
	取り組み内容													
市民協働課	I 男女共同参画を推進する意識と環境づくり	5	男女共同参画啓発イベントの開催	継続	多くの市民が参加したくなるフォーラムを開催するため、実行委員会とともに企画運営を行う。また、市民の多様化する興味関心に対応できるように、さまざまなテーマのワークショップ等を行い、男女共同参画の推進を行う。	継続	継続	継続	継続	第12回かみす市民フォーラムにおいて、講演会と5つのワークショップ・2つの体験ブースを開催し、市民フォーラム実行委員と共に運営した。実行委員会を2回開催し、市民フォーラムの目的を理解してもらおうと共に、スムーズな運営を行えるように説明を行った。 実行委員を広報紙及びHPで公募したが、応募は0人で、委員を確保するのに苦慮している。	市民フォーラム実行委員の人数	12人／年		
	1. 男女の平等をめざした意識づくりの推進		市民フォーラムの開催など市民による実行委員会を組織し、市民や事業者等へ男女共同参画に対する理解と意識の高揚を図る。											
	(1)男女の視点に立った考え方の普及 ①男女共同参画を進める意識の普及			0 実施した									14人	達成
市民協働課	I 男女共同参画を推進する意識と環境づくり	6	男女共同セミナーの開催	継続	市民の興味・関心がある、社会情勢にあったテーマを設定するとともに、対象を絞り、対象にあった学びを深められるようなワークショップを開催する。	市民の興味・関心がある、社会情勢にあったテーマを設定する。対象を、毎年度変えて開催できるように配慮し、対象にめられるようなワークショップを開催する。	継続	継続	継続	第12回かみす市民フォーラムにおいて、「災害への備えと簡単防災グッズ作り」のセミナーを開催し、災害時の活動において女性の積極的な参加を促すために意識啓発を図った。 セミナーなどの学習性の高い内容であると、参加者が少ない傾向にある。今回はワークショップ形式にしたため、参加者数は少なく設定した。	男女共同セミナーの参加者数	50人／年		
	1. 男女の平等をめざした意識づくりの推進		興味・関心のある分野について学びを深めてもらうために、男性と女性が一緒に楽しく考え、学ぶことのできる、テーマや対象をしばったセミナーを開催する。											
	(1)男女の視点に立った考え方の普及 ①男女共同参画を進める意識の普及			43 実施した									25人	ほぼ達成
市民協働課	I 男女共同参画を推進する意識と環境づくり	7	女性の理工系分野への関心・理解を高める事業の推進	継続	男女共同参画啓発イベントや情報誌等を通じて、リケジョ等の紹介を行うほか、理工系分野に関する講演・イベント等について周知する。	継続	継続	継続	第12回かみす市民フォーラムにおいて、おもしろ理科先生を招きワークショップを開催し、女性の理工系分野への参画を促した。 ハートフルかみすの内容やレイクエコーの講座内容によっては、年2回の周知は難しい。	情報提供を行う回数	2回／年			
	1. 男女の平等をめざした意識づくりの推進		女子学生・生徒が理工系分野へ関心・理解を高めるため、科学技術分野の理解増進等に関する事業を推進する。											
	(1)男女の視点に立った考え方の普及 ②女性の理工系分野への関心・理解の促進			5 実施した								1回	未達成	
文化スポーツ課	I 男女共同参画を推進する意識と環境づくり	8	青少年のための科学の祭典	継続	女性にも興味をもって参加してもらえるよう、魅力的な事業内容の充実及び啓発に努めていく。	継続	継続	継続	約30の理科実験ブースの設置やサイエンスショーを開催。【開催日】11月18日（日）【会場】行方市北浦中学校【参加人数】1,560人 開催会場が輪番により鹿行地区を広範囲で行うため、遠方開催だと参加しにくい。	参加人数	1840人			
	1. 男女の平等をめざした意識づくりの推進		子ども達が理科の実験や工作の実体験を通して、科学技術の面白さや不思議さなど、科学の魅力を体験できる機会を提供する。											
	(1)男女の視点に立った考え方の普及 ②女性の理工系分野への関心・理解の促進			100 実施した								1,560人	ほぼ達成	
中央公民館	I 男女共同参画を推進する意識と環境づくり	9	サイエンス講座等の開催	継続	子どもサイエンス講座の開催	継続	継続	継続	中央公民館（4講座） はさき生涯学習センター（1講座）	サイエンス講座数	7講座			
	1. 男女の平等をめざした意識づくりの推進		サイエンス講座を通して、男女がともに学び合い、理工学への関心が高まる機会を提供する。											
	(1)男女の視点に立った考え方の普及 ②女性の理工系分野への関心・理解の促進			52 実施した								5講座	ほぼ達成	

事業担当課	計画書での位置づけ		事業の概要		実施計画（事業内容）					2018年の取り組み			指標の検証	
	基本目標	事業番号	事業名	計画期間 (2018～22) での実施区分	2018実施 計画	2019実施 計画	2020 実施 計画	2021 実施 計画	2022 実施 計画	具体的な実施内容			指標（2018～22）	
	重点課題									実施にあたっての課題・問題点			指標項目	目標値
	施策の目標		事業概要	2018実施 計画	2019実施 計画	2020 実施 計画	2021 実施 計画	2022 実施 計画	実施できなかった理由	決算額 (千円)	実施状況	実績	達成状況	
	取り組み内容													
中央図書館	I 男女共同参画を推進する意識と環境づくり	10	男女共同参画に関する資料の紹介	継続	中央図書館・うずも図書館の「ミニ展示、展示、今月の本棚」のコーナーを利用し、男女共同参画に関する本を紹介する	継続	継続	継続	継続	ミニ展示2回 男性の家事参加、家族について 中央図書館は長期工事休館、うずも図書館は中央図書館の休館により来館者が増え展示スペースの確保が難しかったため、目標回数に至らなかった	展示紹介の回数	4回／年		
	1. 男女の平等をめざした意識づくりの推進													
	(2) 男女平等の視点に立った教育の推進													
	②女性の理工系分野への関心・理解の促進													
								0 実施した	2回	ほぼ達成				
文化スポーツ課	I 男女共同参画を推進する意識と環境づくり	11	家庭教育の充実	継続	保護者が家庭においてその役割を果たせるよう、家庭教育学級や講座を通じて、子育てに関する教育力の向上に努める。	継続	継続	継続	継続	市内幼稚園・小・中学校の家庭教育学級において、それぞれ20時間以上の自主学習を行い、家庭の教育力向上に努めた。 各家庭教育学級の参加率の向上	家庭教育学級及び子育て講座の参加延べ人数	4,400人		
	1. 男女の平等をめざした意識づくりの推進													
	(2) 男女平等の視点に立った教育の推進													
	②女性の理工系分野への関心・理解の促進													
								1,350 実施した	4,158人	ほぼ達成				
教育指導課	I 男女共同参画を推進する意識と環境づくり	12	教育に関する悩みの相談	継続	電話相談員が子育て、学校関係、交友関係に関する相談に応じ、保護者等の不安解消に努める。	継続	継続	継続	継続	教育相談員を配置し、子育て・交友関係に関する電話相談を行っている。電話相談件数14件。	相談受付日の回数	240回／年		
	1. 男女の平等をめざした意識づくりの推進													
	(2) 男女平等の視点に立った教育の推進													
	②女性の理工系分野への関心・理解の促進													
								0 実施した	244	達成				
文化スポーツ課	I 男女共同参画を推進する意識と環境づくり	13	親父の会など男性の子育て活動の支援	継続	親父の会等の地域で子育てに係る活動を行っている団体の支援。	継続	継続	継続	継続	各学校の父親委員会等が中心となり事業を実施。学校行事への協力、環境整備活動への参加。 父親委員会の参加率の向上	親父の会等登録者数	1,020人		
	1. 男女の平等をめざした意識づくりの推進													
	(2) 男女平等の視点に立った教育の推進													
	②家庭における教育への父親の参加促進													
								40 実施した	1,040人	ほぼ達成				
教育指導課	I 男女共同参画を推進する意識と環境づくり	14	キャリア教育の充実	継続	市内の事業者の協力を得て、中学生の職場体験学習を実施し、勤労観や職業観の育成を図る。また小中学校においてキャリア教育を推進する。	継続	継続	継続	継続	小学校では、自分のよさに気づき、夢や希望を実現するために意欲をもって取り組む児童の育成を行った。また中学校では、自らの意思と責任において進路を選択・決定する能力・態度の育成を行った。	中学校の社会体験の回数	24回／年		
	1. 男女の平等をめざした意識づくりの推進													
	(2) 男女平等の視点に立った教育の推進													
	③男女平等の視点に立った学校教育の推進													
								0 実施した	24	達成				

事業担当課	計画書での位置づけ		事業の概要		実施計画（事業内容）					2018年の取り組み			指標の検証			
	基本目標	事業番号	事業名	計画期間 (2018～22) での実施区分	2018実施 計画	2019実施 計画	2020 実施 計画	2021 実施 計画	2022 実施 計画	具体的な実施内容			指標(2018～22)			
	重点課題									実施にあたっての課題・問題点			指標項目	目標値		
	施策の目標		事業概要			実施できなかった理由	決算額 (千円)	実施状況	実績	達成状況						
	取り組み内容															
政策企画課	I 男女共同参画を推進する意識と環境づくり	15	茨城県国際交流協会が運営している外国人相談センターの周知と利用の促進	継続	日本語教室で周知2回/年	日本語教室で周知2回/年・国際交流フェスティバルで周知・餅つき体験で周知	継続	継続	2019年2月に実施された国際交流フェスティバルにおいて、パンフレットを配布した。	外国人の参加が見込めるイベント時等での周知活動の回数	2回/年	日本語教室での周知ができなかった。	0	実施した	1回	未達成
	1. 男女の平等をめざした意識づくりの推進															
	(3) 男女平等の視点に立った国際社会への対応、理解促進															
	①外国人居住者を対象とした相談・支援の充実															
政策企画課	I 男女共同参画を推進する意識と環境づくり	16	神栖市国際交流協会への支援	継続	これまでどおり、公共施設などにて配布を継続する他、費用対効果を考え、発行部数の調整を検討する。	継続	継続	継続	2019年3月に国際交流協会が「きい～ふあ13号」を2,000部発行した。国際交流協会会長と市長の対談記事の他、各事業紹介記事が掲載された。市は対談記事の作成及び配布に関し支援を実施した他、発行に係る経費に対し、補助金を交付した。	情報誌の発行部数を分母とする配布部数の割合	80%	1年間の実績を紹介する記事が中心になるため、国際交流協会の年間スケジュールを事前に知るための別の手段が必要である。	2,000	実施した	75%	ほぼ達成
	1. 男女の平等をめざした意識づくりの推進															
	(3) 男女平等の視点に立った国際社会への対応、理解促進															
	②外国語による公共表示の整備促進、広報の充実															
防災安全課	I 男女共同参画を推進する意識と環境づくり	17	避難所及び避難誘導看板の多言語化	継続	老朽化や津波浸水想定区域かつ指定避難所の看板を優先し年次計画で交換する。	継続	継続	継続	市内の看板の老朽化及び看板デザイン更新のため、現地調査及びデザイン企画を行ったため。	4ヵ国語の看板に変更した避難所	5箇所	0	検討した	5箇所	未達成	
	1. 男女の平等をめざした意識づくりの推進															
	(3) 男女平等の視点に立った国際社会への対応、理解促進															
	②外国語による公共表示の整備促進、広報の充実															

事業担当課	計画書での位置づけ		事業の概要		実施計画（事業内容）					2018年の取り組み			指標の検証			
	基本目標	事業番号	事業名	計画期間 (2018～22) での実施区分	2018実施 計画	2019実施 計画	2020 実施 計画	2021 実施 計画	2022 実施 計画	具体的な実施内容			指標（2018～22）			
	重点課題									実施にあたっての課題・問題点			指標項目	目標値		
	施策の目標		事業概要	2018実施 計画	2019実施 計画	2020 実施 計画	2021 実施 計画	2022 実施 計画	実施できなかった理由	決算額 (千円)	実施状況	実績	達成状況			
	取り組み内容															
教育指導課	I 男女共同参画を推進する意識と環境づくり	18	外国語教育の推進	継続	各小中学校に外国語指導助手を派遣し、生徒の実践的コミュニケーションの育成や児童の英語への興味・関心を高める。	継続	継続	継続	継続	外国語指導助手（ALT）を小中学校で活用し、外国語教育に対する興味・関心を高め、コミュニケーション能力の育成を図った。ALTの人数は14名。	ALTの女性構成割合	40%				
	1. 男女の平等をめざした意識づくりの推進		社会の変化に対応できる児童生徒の育成を図り、国際理解教育の推進を図る。	63,504									実施した	36%	ほぼ達成	
(3)男女平等の視点に立った国際社会への対応、理解促進	国際理解の推進		継続	神栖市国際交流協会の会員による国際理解授業のPR活動の他、神栖市国際交流協会のホームページに掲載する。						継続	継続	継続	継続	国際交流協会主催で「多文化の集い&タイ料理教室」「英語サロン」「姉妹都市ユリカ市とのペンパル事業（中学生）」を開催し、多文化の集いなどの国際理解を進めるイベントの参加者が少ない。	国際理解授業の回数	1回／年
③男女共同参画の視点に立った国際社会への理解や活動の促進																
政策企画課	I 男女共同参画を推進する意識と環境づくり	19	国際理解の推進	継続	性別に偏らない市政への参画推進のため、各種審議会等において、女性の登用の推進を推進する。庁内インフォメーション等で女性の登用の推進について周知を行う。	継続	継続	継続	継続	国際理解授業について、日理的な調整が整わず未実施となった。	2,000	実施した	0回	未達成		
	1. 男女の平等をめざした意識づくりの推進		神栖市国際交流協会が行う国際理解授業の運営について、同協会へ補助金を交付することで支援するとともに、その他の市内で国際理解ができる機会を提供する。													
(3)男女平等の視点に立った国際社会への対応、理解促進	審議会等の委員構成が男女ともに40%を下回らないようにすることの周知		継続	平成19年10月1日に施行したこの指針で「委員の公募にあたっては、募集段階から当該会議全体の男女の構成比を考慮したうえで、原則どちらかが40%を下回らないよう配慮すること。」としている。性別に偏らない市政への参画推進のために、本指針の周知を図り、女性の登用を推進する。						継続	継続	継続	継続	審議会等への女性の登用について、庁内インフォメーションにて周知・調査を行い、その結果を審議会で報告した。	公募実施審議会等における委員の女性登用率	36%
③男女共同参画の視点に立った国際社会への理解や活動の促進																
市民協働課	I 男女共同参画を推進する意識と環境づくり	20	女性人材バンクの整備	継続	女性人材バンクを整備するとともに、女性人材バンクの登録者を募集する。登録者については、審議会等への登用の機会を促す。また、女性人材バンクへの登録候補の人材育成に努める。	継続	継続	継続	継続	女性人材バンクの実施方法や有用性について検討を行った。	女性人材バンクの人数	10人				
	2. 政策・方針決定過程への女性参画の促進		女性委員、女性役員等の協力を得られる人材情報の収集に努めるとともに、各審議会等の女性委員の登用を促進する。	0									実施した	0人	未達成	
(1)市政等の立案・決定への女性の参画拡大	職員の対象とした研修等への派遣		継続	男女共同参画社会の実現に向けた課題の解決策を探るとともに、参加者相互の交流の促進や情報のネットワーク化を図るために、全国的な規模で開催される会議や、県内外での研修会等に参加する。						継続	継続	継続	継続	男女共同参画社会の実現に向けて実践的な取り組みを行うために、日本女性会議、男女共同参画リーダーセミナー、女性活躍推進トップセミナー、連盟のつどいに参加し、研修で得た知識をもとに男女共同参画推進事業を展開した。	研修の参加回数	3回／年
①審議会等への女性の積極的登用																









事業担当課	計画書での位置づけ		事業の概要		実施計画（事業内容）					2018年の取り組み			指標の検証														
	基本目標	事業番号	事業名	計画期間 (2018～22) での実施区分	2018実施 計画	2019実施 計画	2020 実施 計画	2021 実施 計画	2022 実施 計画	具体的な実施内容			指標（2018～22）														
	重点課題									実施にあたっての課題・問題点			指標項目	目標値													
	施策の目標		事業概要		2018実施 計画	2019実施 計画	2020 実施 計画	2021 実施 計画	2022 実施 計画	実施できなかった理由	決算額 (千円)	実施状況	実績	達成状況													
	取り組み内容																										
企業 港湾 商工課	II 男女がともに活躍できる環境づくり	34	働きやすい事業所の紹介	継続	労働条件の向上や女性が働きやすい環境づくりを促進するため、優良事業所として認定を受けた事業所等の情報提供を行う。	継続	継続	継続	継続	女性が働きやすい職場、環境づくりに関する相談窓口等のパンフレットを窓口に設置し、常陸鹿嶋雇用対策協議会（常陸鹿嶋ハローワーク管内5市、75事業所、各中学・高校で組織）が発行する会報や同協議会ホームページへ助成金制度等について掲載するなどして事業所等へ情報提供を行った。	0	実施した	広報・ホームページ等への掲載回数	4回													
	1. ワーク・ライフ・バランスが実現できる働き方の促進		①職場での男女共同参画を促進する情報提供、意識啓発	勤労者、労働団体との連絡調整を図り、男女雇用均等法に対する意識の啓発を図ると共に、労働条件の向上や女性が働きやすい環境づくりを促進するため、優良事業所として認定を受けた事業所等の情報提供を行う。											継続	継続	継続	継続	優良事業所として認定を受けた事業所等の情報提供の仕方について検討する必要がある。	通年（ホームページ）	ほぼ達成						
	(1)均等な雇用機会と待遇の確保																					0	実施した	実績	達成状況		
市民協働課	II 男女がともに活躍できる環境づくり	35	男女共同参画推進事業者の表彰（再掲）	継続	男女共同参画を推進している個人・団体・事業者等を表彰する。また、応募団体が増えるよう、周知方法を工夫するとともに、男女共同参画推進イベントでの表彰式や、情報誌等での紹介を通して、市民の意識啓発に努める。	継続	継続	継続	継続	第12回かみす市民フォーラムにおいて、ワークライフバランスマネジメントへの取り組みを積極的に実施しているJSR株式会社を表彰した。取組状況などを男女共同参画情報誌、ホームページ等で紹介し、市民の意識啓発に努めた。	12	実施した	表彰団体数	12団体													
	1. ワーク・ライフ・バランスが実現できる働き方の促進		①職場での男女共同参画を促進する情報提供、意識啓発	女性の能力活用や職域拡大、家庭生活等で女性の積極的な活動支援を行っている事業者を表彰することにより、地域における人権尊重、男女平等意識の醸成を図る。											継続	継続	継続	継続	優良事業者等を広報紙及びホームページにて公募するが、毎年応募が0であり、被表彰者を探すのに苦慮している。	14	団体	達成					
	(1)均等な雇用機会と待遇の確保																						12	実施した	14	団体	達成
市民協働課	II 男女がともに活躍できる環境づくり	36	ワーク・ライフ・バランスの推進	継続	「ありがとうday（思いやりを持って家族に感謝する日）」を設置する。各課の状況に合わせて、任意の日を月に1日「ありがとうday」とし、定時退社を促す。	継続	継続	継続	継続	「ありがとうday」設置に向けて、調査および検討を行った。	0	実施した	「ありがとうday」に定時退庁した人の割合	80%													
	1. ワーク・ライフ・バランスが実現できる働き方の促進		①職場での男女共同参画を促進する情報提供、意識啓発	長時間勤務を抑制するため、定時退社についての周知などを行うことにより、ワーク・ライフ・バランスを推進し、職員の業務に対するモチベーションの維持と、健康増進につなげる。											継続	継続	継続	継続	ノー残業デーとの区別について、実施するとしたら年何回実施するか、残業の多い時期が各課で異なるのでどのような取り組み方法にするかなど、検討事項があり運用に至っていない。	-	未達成						
	(1)均等な雇用機会と待遇の確保																					0	実施した	-	未達成		
企業 港湾 商工課	II 男女がともに活躍できる環境づくり	37	就労支援相談窓口の設置	継続	就労支援相談員による相談窓口の設置。	継続	継続	継続	継続	ニート・ひきこもり関係及び就労環境に関する相談事業として、就労支援相談を毎月1回行った。相談件数：20件	108	実施した	相談窓口設置回数	10回													
	1. ワーク・ライフ・バランスが実現できる働き方の促進		②女性のための労働相談窓口の設置	ニート・ひきこもり問題を含めた幅広い就労環境に関する相談に対応するため相談窓口を設置する。											継続	継続	継続	継続	12	回	達成						
	(1)均等な雇用機会と待遇の確保																					0	実施した	12	回	達成	
農林課	II 男女がともに活躍できる環境づくり	38	家族経営協定締結の普及促進	継続	茨城県と農協と連携し、家族経営協定の周知に努める。	継続	継続	継続	継続	家族経営協定締結の意義について周知	0	実施した	家族経営協定締結数	51件													
	1. ワーク・ライフ・バランスが実現できる働き方の促進		③農林漁業における男女共同参画の推進	家庭の中で、役割分担や労働時間などを定めた家族経営協定を促進する。											継続	継続	継続	継続	家族経営協定を締結することによる、支援制度等のメリットが少ない。	54	件	達成					
	(1)均等な雇用機会と待遇の確保																						0	実施した	54	件	達成



事業担当課	計画書での位置づけ		事業の概要		実施計画（事業内容）					2018年の取り組み			指標の検証	
	基本目標	事業番号	事業名	計画期間 (2018～22) での実施区分	2018実施 計画	2019実施 計画	2020 実施 計画	2021 実施 計画	2022 実施 計画	具体的な実施内容			指標(2018～22)	
	重点課題									実施にあたっての課題・問題点			指標項目	目標値
	施策の目標		事業概要		2018実施 計画	2019実施 計画	2020 実施 計画	2021 実施 計画	2022 実施 計画	実施できなかった理由	決算額 (千円)	実施状況	実績	達成状況
	取り組み内容													
子育て支援課	II 男女がともに活躍できる環境づくり	44	保育所（園）等での保育の実施	継続	子育て世帯の保育需要に対応できる「利用定員」を確保するため、施設整備を実施する。	継続	継続	継続	継続	うずも保育園、すずの丘保育園の新設工事にあたり、施設整備費を助成。	施設数	27園		
	2. 家庭や地域における男女共同参画の促進													
	(1) 保育や子育ての支援													
	①多様なニーズに対応した保育・子育て支援サービスの充実													
子育て支援課	II 男女がともに活躍できる環境づくり	45	多様化するニーズに対応した保育の充実	継続	多様化する保育ニーズに対応するため、各保育施設において、特別保育等の充実を図る。	継続	継続	継続	継続	公立・民間保育所において、障がい児保育事業、延長保育事業、休日保育事業、一時保育事業、病児・病後児保育事業を実施した。	待機児童数	15		
	2. 家庭や地域における男女共同参画の促進													
	(1) 保育や子育ての支援													
	①多様なニーズに対応した保育・子育て支援サービスの充実													
学務課	II 男女がともに活躍できる環境づくり	46	幼稚園での預かり保育の実施	継続	教育時間終了後、幼稚園の保育活動との関連を十分に考慮しながら実施する。	継続	継続	継続	継続	教育課程終了後から午後5時までの時間内で児童福祉法に基づく保育活動を実施。 実施施設5園 利用人員：定期預かり(延べ)19人、一時預かり(延べ)2,018人	預かり保育を実施している幼稚園数	5園		
	2. 家庭や地域における男女共同参画の促進													
	(1) 保育や子育ての支援													
	①多様なニーズに対応した保育・子育て支援サービスの充実													
学務課	II 男女がともに活躍できる環境づくり	47	幼稚園での3歳児保育の実施	継続	各幼稚園に保育補助教諭を配置し、充実した保育活動の推進に努める。	継続	継続	継続	継続	3歳児保育は、幼稚園5園（8クラス）全てで実施。各幼稚園に保育補助教諭を配置し、充実した保育活動の推進に努めた。 園児数の減により、クラス数が減った。	3歳児保育を実施している幼稚園数（クラス数）	8クラス		
	2. 家庭や地域における男女共同参画の促進													
	(1) 保育や子育ての支援													
	①多様なニーズに対応した保育・子育て支援サービスの充実													
子育て支援課	II 男女がともに活躍できる環境づくり	48	ファミリーサポートセンターの運営	継続	事業の利用促進や会員増を図るため、制度の周知や会員登録の啓発等に努める。	継続	継続	継続	継続	育児の援助を受けたい者（利用会員）と育児の援助を行いたい者（協力会員）が組織化し、会員相互の援助活動を行い地域の子育て支援を図るため、ファミリーサポートセンター事業を実施した。 育児の援助を行う子育てサポーターの高齢化等による人員不足	年間活動件数	2,300件		
	2. 家庭や地域における男女共同参画の促進													
	(1) 保育や子育ての支援													
	①多様なニーズに対応した保育・子育て支援サービスの充実													
										4,122	実施した	1,707人	未達成	

事業担当課	計画書での位置づけ		事業の概要		実施計画（事業内容）					2018年の取り組み			指標の検証	
	基本目標	事業番号	事業名	計画期間 (2018～22) での実施区分	2018実施 計画	2019実施 計画	2020 実施 計画	2021 実施 計画	2022 実施 計画	具体的な実施内容			指標（2018～22）	
	重点課題									実施にあたっての課題・問題点			指標項目	目標値
	施策の目標		事業概要	2018実施 計画	2019実施 計画	2020 実施 計画	2021 実施 計画	2022 実施 計画	実施できなかった理由	決算額 (千円)	実施状況	実績	達成状況	
	取り組み内容													
子育て支援課	Ⅱ 男女がともに活躍できる環境づくり	49	子育てサポーター養成基礎研修の開催	継続	子育てサポーター養成基礎研修を開催し、地域で活動できる人材を養成する。	継続	継続	継続	継続	子育てサポーター養成基礎研修会を開催した。研修・講習会年1回（3日間）受講生5人また、フォローアップ研修として公立保育士によるヒヤリハット講座を実施した。子育てサポーター養成基礎研修会の受講生が減少している。	延べ研修修了者数	延べ5人		
	2. 家庭や地域における男女共同参画の促進													
	(1) 保育や子育ての支援													
①多様なニーズに対応した保育・子育て支援サービスの充実								0	実施した	5人	達成			
こども福祉課	Ⅱ 男女がともに活躍できる環境づくり	50	放課後児童クラブの運営	継続	・子ども・子育て支援事業計画に基づき、児童クラブを増設する。	継続	継続	継続	継続	横瀬小放課後児童クラブ室の新設のほか、市内6小学校でクラブ数を増設し、放課後児童クラブの受け入れ体制の強化に努めた。	クラブ数	39		
	2. 家庭や地域における男女共同参画の促進													
	(1) 保育や子育ての支援													
②子どもが遊ぶ場所や機会の充実								328,871	実施した	40クラブ	ほぼ達成			
こども福祉課	Ⅱ 男女がともに活躍できる環境づくり	51	子育て広場など乳幼児の親子の交流促進	継続	育児の相談や情報交換等様々な活動を行ったり、季節の行事にちなんだイベントを行うなど、児童館が、子育て支援の拠点として、地域性や利用者のニーズを反映させた事業を行う。	継続	継続	継続	継続	幼児と保護者の年齢にあった、リズム遊び・工作・本・紙芝居の読み聞かせなど、小学生には季節にあった行事や工作等、身体を使った活動のクラブや教室を実施した。	年間利用者数	206,000人		
	2. 家庭や地域における男女共同参画の促進													
	(1) 保育や子育ての支援													
②子どもが遊ぶ場所や機会の充実								216,390	実施した	194,778人	ほぼ達成			
健康増進課	Ⅱ 男女がともに活躍できる環境づくり	52	母子保健訪問指導等の充実	継続	乳幼児健診や妊娠届出時、関係機関からの連絡等により、要フォロー者を把握する。訪問指導や相談を実施し、児の発育発達の確認をし支援につなげる。また産婦のもつ育児不安の解消、乳児虐待の防止を図る。	継続	継続	継続	継続	乳幼児健診等からのケース把握と関係機関からの連絡により、要フォロー者等の訪問指導を実施した。また、妊娠届出時に支援が必要な妊婦に対し面接を行った。 ・妊婦：実7人 延べ30人 ・産婦：実845人 延べ933人 ・新生児：実35人 延べ46人 ・低出生体重児：実83人 延べ98人 ・乳児：実743人 延べ797人 ・幼児：実52人 延べ97人	要フォロー者に対して支援指導等の実施率	100%		
	2. 家庭や地域における男女共同参画の促進													
	(1) 保育や子育ての支援													
③子育てに関する相談支援体制の整備、充実								0	実施した	100%	達成			

事業担当課	計画書での位置づけ		事業の概要		実施計画（事業内容）					2018年の取り組み			指標の検証	
	基本目標	事業番号	事業名	計画期間 (2018～22) での実施区分	2018実施 計画	2019実施 計画	2020 実施 計画	2021 実施 計画	2022 実施 計画	具体的な実施内容			指標(2018～22)	
	重点課題									実施にあたっての課題・問題点			指標項目	目標値
	施策の目標		事業概要	2018実施 計画	2019実施 計画	2020 実施 計画	2021 実施 計画	2022 実施 計画	実施できなかった理由	決算額 (千円)	実施状況	実績	達成状況	
	取り組み内容													
こども福祉課	II 男女がともに活躍できる環境づくり	53	子育て相談の実施	継続	家庭における適切な児童の養育、その他児童福祉に関する相談に応じる。相談の中で必要とみとめられた場合には、子育てカウンセラー相談やその他の児童福祉サービスの利用につなげたり、児童相談所等の専門他機関に相談をつなぐ。	継続	継続	継続	継続	家庭児童相談員3名が子どもの健やかな成長のためのあらゆる相談に応じ、自宅訪問指導や関係する各機関と連携を図りながら対応にあたった。また心理カウンセラーが個別相談に応じ、子育てを支援した。	年間相談件数	5,200件		
	2. 家庭や地域における男女共同参画の促進		子どもの健やかな成長のためのあらゆる相談に応じる家庭児童相談室および専門の心理カウンセラーが個別相談に応じる子育てカウンセラーを実施し、子育てを支援する。											
	(1) 保育や子育ての支援													
	③子育てに関する相談支援体制の整備、充実													
健康増進課	II 男女がともに活躍できる環境づくり	54	乳幼児の育児相談	継続	乳幼児とその保護者を対象に月1回、育児栄養相談・母乳相談を実施する。児の健康状態を確認し、疾病や発達の遅れ等の早期発見に努める。	継続	継続	継続	継続	保健師・助産師・栄養士が育児に対する不安・母乳に関する相談を受け、児の発達・育児を確認する。12回開催 278人参加 専門職の人材確保	年間育児相談開催数	12回		
	2. 家庭や地域における男女共同参画の促進		乳幼児の育児への不安や悩み相談及び母乳全般に関する相談等の充実を図る。乳幼児健康診査、育児相談等により疾病や発達の遅れ等の早期発見に努める。											
	(1) 保育や子育ての支援													
	③子育てに関する相談支援体制の整備、充実													
社会福祉課	II 男女がともに活躍できる環境づくり	55	民生委員・児童委員による相談支援体制の充実	継続	国・県が主催する研修会等への参加支援や、地区民児協定会研修を実施するなど、民生委員児童委員の資質の向上を図る。	継続	継続	継続	継続	国・県主催の研修会等への参加支援や、地区民児協定会における介護保険制度や生活保護等についての研修を行い、民生委員児童委員一人ひとりの知識の向上に努めた。	相談件数	年間2,600件		
	2. 家庭や地域における男女共同参画の促進		地域住民からの社会福祉に関わる相談に応じ、様々な支援をする。											
	(1) 保育や子育ての支援													
	③子育てに関する相談支援体制の整備、充実													
子育て支援課	II 男女がともに活躍できる環境づくり	56	子育てコンシェルジュ相談（利用者支援事業）	継続	子育て支援課と児童館子育て広場に子育てコンシェルジュを配置し、保護者からの相談を受け、妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援を行う。	継続	継続	継続	継続	子育て支援課での相談件数1386件 児童館子育て広場での相談件数1145件相談を受ける中で、ニーズに合わせての情報提供を行った。	年間相談件数	1,600件		
	2. 家庭や地域における男女共同参画の促進		子育て支援課および児童館子育て広場に子育てコンシェルジュを配置し、妊娠期から子育て期までの保護者からの相談を受け、それぞれのニーズに合った情報提供を行い支援につなげる。											
	(1) 保育や子育ての支援													
	③子育てに関する相談支援体制の整備、充実													
子育て支援課	II 男女がともに活躍できる環境づくり	57	子育て便利帳の発行	継続	市の子育て支援政策を網羅した子育てガイドブックを作成し、特に4歳未満の児童の保護者の手に渡るように効果的に配布する。	継続	継続	継続	継続	子育てガイドブックを作成し、母子手帳交付時2ヶ月児家庭訪問、3歳児健診で配布した。	発行数	5,000部		
	2. 家庭や地域における男女共同参画の促進		市の子育て支援政策を子育て世代に周知するため、子育てガイドブックを作成・発行し、効果的に配布する。											
	(1) 保育や子育ての支援													
	④子育てに関する情報発信、学習機会の提供、充実													

事業担当課	計画書での位置づけ		事業の概要		実施計画（事業内容）					2018年の取り組み			指標の検証		
	基本目標	事業番号	事業名	計画期間 (2018～22) での実施区分	2018実施 計画	2019実施 計画	2020 実施 計画	2021 実施 計画	2022 実施 計画	具体的な実施内容			指標（2018～22）		
	重点課題									実施にあたっての課題・問題点			指標項目	目標値	
	施策の目標		事業概要			2018実施 計画	2019実施 計画	2020 実施 計画	2021 実施 計画	2022 実施 計画	実施できなかった理由	決算額 (千円)	実施状況	実績	達成状況
	取り組み内容		事業概要												
子育て支援課	II 男女がともに活躍できる環境づくり	58	子育てタウンアプリ、ママフレWebによる情報提供	継続	プッシュ通知を効果的に発信するなどし、リアルタイムにイベント情報や子育て情報を提供する。スマートフォン用アプリおよび神栖市ママフレWebサイトにより子育て情報の提供を行う。	継続	継続	継続	継続	子育てタウンアプリママフレWebにより、子育て情報の提供を実施した。	アプリダウンロード数	1,000件			
	2. 家庭や地域における男女共同参画の促進														
	(1) 保育や子育ての支援														
	④子育てに関する情報発信、学習機会の提供、充実														
										1,944	実施した	1,520件	達成		
健康増進課	II 男女がともに活躍できる環境づくり	59	ニューファミリーセミナーの開催	継続	年間4回、共働き夫婦が参加しやすいよう土曜日に開催する。沐浴体験実習や育児全般の教育を通して、お互い協力して子育てできるような支援する。	継続	継続	継続	継続	これから父母となる方の育児力が向上し、お互い協力して子育てできるよう支援を実施。年4回開催、136人参加。	年間参加人数	130人			
	2. 家庭や地域における男女共同参画の促進														
	(1) 保育や子育ての支援														
	④子育てに関する情報発信、学習機会の提供、充実														
										109	実施した	136人	ほぼ達成		
健康増進課	II 男女がともに活躍できる環境づくり	60	乳幼児をもつ保護者への育児講話等の開催	継続	児童館や幼稚園等へ出向き育児講話、歯科講話を実施し、乳幼児をもつ保護者に対して保健指導をする。	継続	継続	継続	継続	児童館等で育児講話を17回実施、参加者372人。幼稚園等で歯科講話（はみがき指導）を12回実施し、参加者213人。講話の要望件数が増加し、対応が難しい状態にある。人材の確保が課題。	育児講話・歯科講話等の年間開催数	育児講話10回 歯科講話10回			
	2. 家庭や地域における男女共同参画の促進														
	(1) 保育や子育ての支援														
	④子育てに関する情報発信、学習機会の提供、充実														
										120	実施した	育児講話17回、 歯科講話12回	ほぼ達成		
子育て支援課	II 男女がともに活躍できる環境づくり	61	男性の家事・育児参画や両立支援に関するセミナーの実施	継続	男性向けまたは両親向けセミナーを開催する。	継続	継続	継続	継続	両立支援セミナー年1回実施した。2018年度参加者15人	延べ参加者数	延べ20人			
	2. 家庭や地域における男女共同参画の促進														
	(1) 保育や子育ての支援														
	④子育てに関する情報発信、学習機会の提供、充実														
										170	実施した	15人	未達成		
こども福祉課	II 男女がともに活躍できる環境づくり	62	児童扶養手当の支給	継続	児童を養育している母子家庭等又は両親のいない家庭等に、年3回（4月、8月、12月）手当を支給する。	継続	継続	継続	継続	父母などの離婚等により、父又は母と生計を同じくしていない児童を監護養育している家庭の生活の安定と自立の促進を目的として実施。延月受給者数 11,694人	児童扶養手当支給対象者数	960件			
	2. 家庭や地域における男女共同参画の促進														
	(1) 保育や子育ての支援														
	⑤ひとり親家庭への支援														
										441,041	実施した	1,024件	達成		



事業担当課	計画書での位置づけ		事業の概要		実施計画（事業内容）					2018年の取り組み			指標の検証	
	基本目標	事業番号	事業名	計画期間 (2018～22) での実施区分	2018実施 計画	2019実施 計画	2020 実施 計画	2021 実施 計画	2022 実施 計画	具体的な実施内容			指標(2018～22)	
	重点課題									実施にあたっての課題・問題点			指標項目	目標値
	施策の目標		事業概要		2018実施 計画	2019実施 計画	2020 実施 計画	2021 実施 計画	2022 実施 計画	実施できなかった理由	決算額 (千円)	実施状況	実績	達成状況
	取り組み内容													
障がい福祉課	II 男女がともに活躍できる環境づくり	68	障がい者の社会参加支援	継続	障害福祉サービス（居宅介護、生活介護、就労移行支援、短期入所等）の実施。	継続	継続	継続	継続	障害福祉サービス（居宅介護、生活介護、就労移行支援、短期入所等）年間延べ利用者数 10,015人	1,192,450	実施した	10,015人	ほぼ達成
	2. 家庭や地域における男女共同参画の促進		障害福祉サービスを実施し、障がい者の社会参加促進と介護軽減を図る。											
	(2)介護の支援													
	②障がい者の介護の支援													
障がい福祉課	II 男女がともに活躍できる環境づくり	69	福祉作業所（きぼうの家）の運営	継続	縫製作業、農作業、組み立て等の軽作業のほか生活適応訓練や生活指導を実施。	継続	継続	継続	継続	縫製作業、農作業、組み立て等の軽作業のほか生活適応訓練や生活指導を実施。延べ利用者数 4,920人	0	実施した	4,920円	達成
	2. 家庭や地域における男女共同参画の促進		障害者自立支援及び障がい者の社会参加を促すとともに、介護者の負担軽減を図る。											
	(2)介護の支援													
	②障がい者の介護の支援													
市民協働課	II 男女がともに活躍できる環境づくり	70	託児付事業の推進	継続	各課で市民向けに行う講座・イベント等について、託児室を設けるよう、庁内インフォメーション等を利用し、啓発を行う。	継続	継続	継続	継続	第12回かみす市民フォーラムにおいて託児付きの講演会及びワークショップを開催した。	20	実施した	1回/年	達成
	2. 家庭や地域における男女共同参画の促進		参加者が参画しやすい環境づくりを進めるため、イベント等開催時に託児室を設けるよう促す。											
	(3)地域社会活動への参加促進、参加しやすい環境づくり													
	①男女が参加しやすい講座や教室の開催													
中央公民館	II 男女がともに活躍できる環境づくり	71	託児付講座、土日及び夜間講座等の開催	継続	託児付講座、土日及び夜間講座の開催。	継続	継続	継続	継続	託児講座 中央公民館（17講座）はさき生涯学習センター（5講座）矢田部公民館（3講座）若松公民館（2講座）	462	実施した	27講座	達成
	2. 家庭や地域における男女共同参画の促進		乳幼児をもつ母親や仕事をもつ男女が参加しやすい環境づくりを促進する。											
	(3)地域社会活動への参加促進、参加しやすい環境づくり													
	①男女が参加しやすい講座や教室の開催													
中央公民館	II 男女がともに活躍できる環境づくり	72	男性が参加しやすい生涯学習講座の開催	継続	男性を対象とした講座の開催。	継続	継続	継続	継続	はさき生涯学習センター（1講座）若松公民館（2講座）	24	実施した	3講座	ほぼ達成
	2. 家庭や地域における男女共同参画の促進		男性が生涯学習講座に参加するきっかけを提供する。											
	(3)地域社会活動への参加促進、参加しやすい環境づくり													
	①男女が参加しやすい講座や教室の開催													



事業担当課	計画書での位置づけ		事業の概要		実施計画（事業内容）					2018年の取り組み			指標の検証	
	基本目標	事業番号	事業名	計画期間 (2018～22) での実施区分	2018実施 計画	2019実施 計画	2020 実施 計画	2021 実施 計画	2022 実施 計画	具体的な実施内容			指標(2018～22)	
	重点課題									実施にあたっての課題・問題点			指標項目	目標値
	施策の目標		事業概要	2018実施 計画	2019実施 計画	2020 実施 計画	2021 実施 計画	2022 実施 計画	実施できなかった理由	決算額 (千円)	実施状況	実績	達成状況	
	取り組み内容													
市民協働課	II 男女がともに活躍できる環境づくり	73	地区活動への参加促進	継続	男女共同参画の推進に関わるパンフレットや資料を配付し、意識啓発を行う。	継続	継続	継続	継続	地区に対するアンケートを行い、現状を把握すると共に、来年度以降の啓発活動について検討した。行政委員の会議でハートフルプランを配布するほか、毎年女性区役員の人数を調査する。	情報提供を行う回数	2回／年		
	2. 家庭や地域における男女共同参画の促進		防災活動、環境美化活動など、地域活動に男女が積極的に参加を促す意識啓発に努める。											
	(3) 地域社会活動への参加促進、参加しやすい環境づくり													
	② さまざまな地域社会活動への参加促進、活動支援													
0 実施した	0回	未達成												
市民協働課	II 男女がともに活躍できる環境づくり	74	市民活動の情報提供	継続	市民活動支援サイト「ねっとかみす」や市民活動支援センター情報誌「しえんだより」を通じて市民活動団体について情報提供をする。	継続	継続	継続	継続	県及び市の市民活動に関する情報や登録団体からのお知らせ等の情報を収集し、市民活動情報発信サイト「ねっとかみす」や市内17施設に市民活動情報掲示板を設置し、市民に市民活動団体やボランティア団体の情報提供を行った。	市民活動情報支援サイト掲載団体数	60団体		
	2. 家庭や地域における男女共同参画の促進		市民と行政との協働によるまちづくりを推進するため、市民活動情報支援サイトなどを通じて、市民活動団体やボランティア団体に対し情報提供に努める。											
	(3) 地域社会活動への参加促進、参加しやすい環境づくり													
	② さまざまな地域社会活動への参加促進、活動支援													
0 実施した	87団体	達成												
社会福祉課	II 男女がともに活躍できる環境づくり	75	ボランティア活動の参加促進	継続	男性が参加しやすくなるような企画やボランティア団体の活動紹介などにより、男性の参加者の増員を目指す。(ボランティア団体の会員の男女構成は把握できないため、団体代表者の性別で比較)	継続	継続	継続	継続	社会福祉協議会が実施するボランティアセンター活動事業を支援するとともに、地域住民へのボランティア活動の啓発に努めた。(講座1回(ボランティア参加の少ない“男性”を対象としたもの)、参加者5人)	登録ボランティア団体における女性会員の構成割合	90%		
	2. 家庭や地域における男女共同参画の促進		福祉関係団体等との連携によるボランティア活動への参加促進を図る。											
	(3) 地域社会活動への参加促進、参加しやすい環境づくり													
	② さまざまな地域社会活動への参加促進、活動支援													
0 実施した	74%	達成												

事業担当課	計画書での位置づけ		事業の概要		実施計画（事業内容）					2018年の取り組み			指標の検証	
	基本目標	事業番号	事業名	計画期間 (2018～22) での実施区分	2018実施 計画	2019実施 計画	2020 実施 計画	2021 実施 計画	2022 実施 計画	具体的な実施内容			指標(2018～22)	
	重点課題									実施にあたっての課題・問題点			指標項目	目標値
	施策の目標		事業概要		2018実施 計画	2019実施 計画	2020 実施 計画	2021 実施 計画	2022 実施 計画	実施できなかった理由	決算額 (千円)	実施状況	実績	達成状況
	取り組み内容													
社会福祉課	II 男女がともに活躍できる環境づくり	76	女性団体の自主活動の促進（交通安全、防犯、環境美化など）	継続	更生保護女性会の社会を明るくする運動をはじめとした啓発活動やボランティア活動を目的とした研修への参加を支援する。	継続	継続	継続	継続	更生保護女性会の研修・視察に参加し、社会を明るくする運動では街頭キャンペーンの実施を支援した。	啓発・ボランティア等の活動実施割合（年間予定に対する実績）	100%		
	2. 家庭や地域における男女共同参画の促進		地域社会の犯罪、非行の未然防止の啓発活動、青少年の健全育成などのボランティア活動に女性の立場から取り組んでいる当該団体の活動を支援する。											
	(3) 地域社会活動への参加促進、参加しやすい環境づくり													
	② さまざまな地域社会活動への参加促進、活動支援													
防災安全課	II 男女がともに活躍できる環境づくり	76	女性団体の自主活動の促進（交通安全、防犯、環境美化など）	継続	交通安全に係るキャンペーンへの参加、立哨活動の実施、幼児・児童やシニア世代向けの交通安全教室実施の補助、戸別訪問での交通安全の呼びかけ等。	継続	継続	継続	継続	交通安全キャンペーンの参加、立哨活動の実施、交通安全教室実施の補助、戸別訪問等。	活動回数	5回／年		
	2. 家庭や地域における男女共同参画の促進		地域の交通安全に関することを女性目線で推進する。											
	(3) 地域社会活動への参加促進、参加しやすい環境づくり													
	② さまざまな地域社会活動への参加促進、活動支援													
環境課	II 男女がともに活躍できる環境づくり	76	女性団体の自主活動の促進（交通安全、防犯、環境美化など）	継続	生活雑排水対策についての学習会、啓発活動等に対し支援をする。	継続	継続	継続	継続	家庭排水浄化推進協議会と連携し、学習会（廃油石けんづくり）、消費生活展2018及び大型店舗において、水質浄化の啓発活動を実施した。 水質浄化について、効果が目に見えにくいとともに、CODなどの数値は必ずしも良くなっていないので、地道な啓発活動の継続が必要である。	活動回数	5回／年		
	2. 家庭や地域における男女共同参画の促進		市民で構成する5団体が組織する家庭排水浄化推進協議会の生活雑排水対策の活動に対し支援する。											
	(3) 地域社会活動への参加促進、参加しやすい環境づくり													
	② さまざまな地域社会活動への参加促進、活動支援													
教育指導課	II 男女がともに活躍できる環境づくり	77	学校評議員会議の開催	継続	学校運営や児童生徒の健全育成に関する意見を求めるため、学校評議員会を開催する。	継続	継続	継続	継続	各学校ごとに、会議を開催し、学校運営や児童生徒の健全育成に関する意見を求めた。	女性評議員の構成割合	40%		
	2. 家庭や地域における男女共同参画の促進		地域に開かれ、特色ある学校づくりを一層推進するため、地域・学校・家庭が協力して子どもの成長・発達を促進する。											
	(3) 地域社会活動への参加促進、参加しやすい環境づくり													
	② さまざまな地域社会活動への参加促進、活動支援													
社会福祉課	II 男女がともに活躍できる環境づくり	78	民生委員・児童委員による相談支援体制の充実（再掲）	継続	国・県が主催する研修会等への参加支援や、地区民児協定例会研修を実施するなど、民生委員児童委員の資質の向上を図る。	継続	継続	継続	継続	国・県主催の研修会等への参加支援や、地区民児協定例会における介護保険制度や生活保護等についての研修を行い、民生委員児童委員一人ひとりの知識の向上に努めた。	相談件数	年間2,600件		
	2. 家庭や地域における男女共同参画の促進		地域住民からの社会福祉に関わる相談に応じ、様々な支援をする。											
	(3) 地域社会活動への参加促進、参加しやすい環境づくり													
	② さまざまな地域社会活動への参加促進、活動支援													

事業担当課	計画書での位置づけ		事業の概要		実施計画（事業内容）					2018年の取り組み			指標の検証	
	基本目標	事業番号	事業名	計画期間 (2018～22) での実施区分	2018実施 計画	2019実施 計画	2020 実施 計画	2021 実施 計画	2022 実施 計画	具体的な実施内容			指標(2018～22)	
	重点課題									実施にあたっての課題・問題点			指標項目	目標値
	施策の目標		事業概要	2018実施 計画	2019実施 計画	2020 実施 計画	2021 実施 計画	2022 実施 計画	実施できなかった理由	決算額 (千円)	実施状況	実績	達成状況	
	取り組み内容													
文化スポーツ課	II 男女がともに活躍できる環境づくり	79	青少年相談員の活動支援	継続	青少年の健全育成及び非行防止を図るため、青少年相談員による補導活動等を実施する。	継続	継続	継続	継続	定期街頭補導：34回、特別街頭補導：9回、毎月月初めにあいさつ声かけ運動を26校で実施、7～12月に「青少年の健全育成に協力する店」登録活動を行い、5件を新規登録し、市内延べ479件の店舗に協力を依頼。 青少年相談員のなり手不足、高齢化。	青少年相談員による補導活動回数	66回		
	2. 家庭や地域における男女共同参画の促進													
	(3) 地域社会活動への参加促進、参加しやすい環境づくり													
	②さまざまな地域社会活動への参加促進、活動支援													
政策企画課	II 男女がともに活躍できる環境づくり	80	神栖市国際交流協会への支援	継続	神栖市国際交流協会のホームページで事業の周知をする他、外国人からの申請受け付けがあると考えられる市の関係各課へ周知する。	継続	継続	継続	継続	通訳を1件、翻訳を40件実施した。 対応できる言語が限られている。	神栖市国際交流協会の通訳・翻訳事業を利用した件数	50件／年		
	2. 家庭や地域における男女共同参画の促進													
	(3) 地域社会活動への参加促進、参加しやすい環境づくり													
	②さまざまな地域社会活動への参加促進、活動支援													
防災安全課	II 男女がともに活躍できる環境づくり	81	自主防犯活動の支援	継続	女性の視点・母親の視点から防犯上危険な道・箇所を発見しパトロールを実施。防犯に係るキャンペーンへの参加、各地区での祭り等行事の際に防犯活動を実施する。	継続	継続	継続	継続	地域の自警団とともに、地域のパトロールを実施。防犯キャンペーンへの参加。	自警団の数	20		
	2. 家庭や地域における男女共同参画の促進													
	(3) 地域社会活動への参加促進、参加しやすい環境づくり													
	②さまざまな地域社会活動への参加促進、活動支援													
市民協働課	II 男女がともに活躍できる環境づくり	82	生涯学習人材バンクの充実	継続	生涯学習情報誌「まなびアイかみす」や市のホームページにおいて周知し、登録者を募る。	継続	継続	継続	継続	市ホームページにおいて登録者を募集した。	生涯学習人材バンクへの登録者数	28人		
	2. 家庭や地域における男女共同参画の促進													
	(3) 地域社会活動への参加促進、参加しやすい環境づくり													
	②さまざまな地域社会活動への参加促進、活動支援													
長寿介護課	II 男女がともに活躍できる環境づくり	83	シルバー人材センターの活動支援	継続	高齢者が自己の能力や経験を活用できる機会を提供し、生涯にわたり社会参加ができる活動を支援する。	継続	継続	継続	継続	シルバー人材センター事業にかかる助成金を交付した。活動内容は、除草・草刈り、植木剪定、清掃作業など、H30受注件数2,019件。会員数457人(男267人、女190人)	会員数	500人		
	2. 家庭や地域における男女共同参画の促進													
	(3) 地域社会活動への参加促進、参加しやすい環境づくり													
	③シニア世代の社会参加活動の促進													
										34,000	実施した	457人	未達成	

事業担当課	計画書での位置づけ		事業の概要		実施計画（事業内容）					2018年の取り組み			指標の検証	
	基本目標	事業番号	事業名	計画期間 (2018～22) での実施区分	2018実施 計画	2019実施 計画	2020 実施 計画	2021 実施 計画	2022 実施 計画	具体的な実施内容			指標(2018～22)	
	重点課題									実施にあたっての課題・問題点			指標項目	目標値
	施策の目標		事業概要	2018実施 計画	2019実施 計画	2020 実施 計画	2021 実施 計画	2022 実施 計画	実施できなかった理由	決算額 (千円)	実施状況	実績	達成状況	
	取り組み内容													
長寿介護課	II 男女がともに活躍できる環境づくり	84	地域支援サポーターの活動支援	継続	地域支援サポーターの活躍の場等を例示するとともに、ボランティアポイント制度の導入による参加しやすい環境を整える。	地域支援サポーターの活躍の場等を例示するとともに、ボランティアポイント制度を運用し、参加しやすい環境を整える。	継続	継続	継続	地域支援サポーター養成講座を2回開催し、やすらぎ支援員やシルバーリハビリ体操など、活躍の場を例示した。また、活動実績に伴う、ポイントの付与・支給を実施。 講座に受講するだけで、サポーターとしての活動の従事に繋がらない場合があった。	地域支援サポーター数	155人		
	2. 家庭や地域における男女共同参画の促進													
	(3)地域社会活動への参加促進、参加しやすい環境づくり													
	③シニア世代の社会参加活動の促進													
									506 実施した	118人	ほぼ達成			
市民協働課	II 男女がともに活躍できる環境づくり	85	技能向上研修等の情報提供	継続	国・県等で行う、就職に関する技能習得や能力向上などの研修に関するチラシの配布や、市ホームページ等を利用した、情報の周知を行う。	継続	継続	継続	継続	講座や講演会についてチラシの配布等で情報提供を行った。また、女性のキャリア形成について「自分に限界をつくらない～パート主婦から年商10億の駅弁販売カリスマ所長への道～」に参加した。	研修へ参加した市民の人数	1人／年		
	3. 活躍するための意識・能力向上とチャレンジの支援													
	(1)キャリア形成、職業能力向上の支援													
	①就業に必要な技術習得や能力向上の支援													
									0 実施した	1人	達成			
子ども福祉課	II 男女がともに活躍できる環境づくり	86	神栖市高等職業訓練促進給付金等の利用促進	継続	資格取得を目的に養成機関で修学する母子家庭の母又は父子家庭の父に対し、給付金を支給する。また、修学修了後に一時金を支給する。	継続	継続	継続	継続	母子家庭の母又は父子家庭の父が自立するために養成機関で修業し、看護師や保育士などの資格取得を目指す方に、生活の負担軽減を図るため、訓練促進費等を支給した。	新規申請者数	6人		
	3. 活躍するための意識・能力向上とチャレンジの支援													
	(1)キャリア形成、職業能力向上の支援													
	①就業に必要な技術習得や能力向上の支援													
									7,343 実施した	4人	未達成			
企業港湾商工課	II 男女がともに活躍できる環境づくり	87	求人情報の紹介	継続	市内施設へハローワーク求人情報閲覧専用パソコンの市内施設への設置。	継続	継続	継続	継続	求人情報の提供として、市内施設4カ所へ閲覧専用パソコンの設置と各公民館・図書館の窓口で求人情報を配布した。 近年の雇用環境は、好景気を背景に求職者、労働者に優位な状況にあるため、閲覧数が伸びなかった。	アクセス回数	20,000回		
	3. 活躍するための意識・能力向上とチャレンジの支援													
	(2)再就職や起業の支援													
	①再就職や起業を促す情報提供や起業の支援													
									265 実施した	10,660アクセス	達成			
企業港湾商工課	II 男女がともに活躍できる環境づくり	88	子育てママ再就職の支援	継続	市HPへ制度等の情報を掲載することにより、市民へ情報提供を行う。	継続	継続	継続	継続	市報へ県が主催する再就職に関する面接会について掲載するとともに、市ホームページへ県ホームページのリンクを貼り、市民への情報提供を行った。	広報・ホームページ掲載回数	4回		
	3. 活躍するための意識・能力向上とチャレンジの支援													
	(2)再就職や起業の支援													
	①再就職や起業を促す情報提供や起業の支援													
									0 実施した	広報：1回、ホームページ：通年	達成			

事業担当課	計画書での位置づけ		事業の概要		実施計画（事業内容）					2018年の取り組み			指標の検証	
	基本目標	事業番号	事業名	計画期間 (2018～22) での実施区分	2018実施 計画	2019実施 計画	2020 実施 計画	2021 実施 計画	2022 実施 計画	具体的な実施内容			指標(2018～22)	
	重点課題									実施にあたっての課題・問題点			指標項目	目標値
	施策の目標		事業概要	2018実施 計画	2019実施 計画	2020 実施 計画	2021 実施 計画	2022 実施 計画	実施できなかった理由	決算額 (千円)	実施状況	実績	達成状況	
	取り組み内容													
子育て支援課	II 男女がともに活躍できる環境づくり	89	保育士等人材バンクの実施	継続	市内の保育園・認定こども園において就労を希望する保育士、保育教諭、幼稚園教諭、看護師など人材バンク登録者の情報を、市内保育所・認定こども園に提供する。	継続	継続	継続	継続	保育士3人、看護師1人の登録があり、市内の保育園・認定こども園に情報提供を行った。	就職率	100%		
	3. 活躍するための意識・能力向上とチャレンジの支援													
	(2)再就職や起業の支援													
①再就職や起業を促す情報提供や起業の支援			0	実施した	100%	達成								
企業港湾商工課	II 男女がともに活躍できる環境づくり	90	創業者支援融資制度の活用促進	継続	商工会と連携し、創業に必要な知識を取得することができるセミナー等を開催する。	継続	継続	継続	継続	市が策定し、国から認定を受けた創業支援事業計画に基づき、商工会に創業セミナー・創業スクールの開催を委託、実施し、創業者の知識の習得を支援した（参加者：20人）。	セミナー参加人数	20人		
	3. 活躍するための意識・能力向上とチャレンジの支援													
	(2)再就職や起業の支援													
①再就職や起業を促す情報提供や起業の支援			297	実施した	20人	達成								
企業港湾商工課	II 男女がともに活躍できる環境づくり	91	商店街の空店舗を活用した起業の支援	継続	商店街の空店舗を活用し、新たに営利を目的とした事業を開始する者へ補助金を交付する。	継続	継続	継続	継続	商業活性化への支援を強化するような要項への改正を検討していたため、補助金申請の募集を行わなかった。	補助金交付件数	-		
	3. 活躍するための意識・能力向上とチャレンジの支援													
	(2)再就職や起業の支援													
①再就職や起業を促す情報提供や起業の支援			0	検討した	0	その他(補助金申請の募集を行わなかった)								
農林課	II 男女がともに活躍できる環境づくり	92	魅力ある産地づくりの支援	継続	農業が持続的に発展するため、意欲ある農業者等が行う仕組みづくりについて、周知を図る。	継続	継続	継続	継続	広報かみすやホームページによる周知を行った。これにより要望のあった農業者の相談に応じ、申請から交付決定、実績報告まで支援及び補助金を交付した。	魅力ある産地づくり事業支援費補助金の交付件数	1件		
	3. 活躍するための意識・能力向上とチャレンジの支援													
	(2)再就職や起業の支援													
①再就職や起業を促す情報提供や起業の支援			1,000	実施した	2件	達成								
市民協働課	III 男女がともに安心して生活できる環境づくり	93	DV等の根絶・売春等性の商品化防止についての情報提供	継続	国・県等からのDVや売春の防止に関するポスター、チラシ等を活用し、啓発に努める。また、デートDV防止出前講座を開催し、若年層への啓発に努める。	継続	継続	継続	継続	国・県等からのポスターの掲示、チラシの設置を行った。また、若年層への啓発としてデートDV防止出前講座を波崎高校で開催した。	情報提供を行う回数	2回/年		
	1. 男女間の暴力の根絶													
	(1)暴力を根絶するための意識啓発													
①暴力や性的商品化の防止に向けた意識啓発			0	実施した	2回	達成								



事業担当課	計画書での位置づけ		事業の概要		実施計画（事業内容）					2018年の取り組み			指標の検証	
	基本目標	事業番号	事業名	計画期間 (2018～22) での実施区分	2018実施 計画	2019実施 計画	2020 実施 計画	2021 実施 計画	2022 実施 計画	具体的な実施内容			指標（2018～22）	
	重点課題									実施にあたっての課題・問題点			指標項目	目標値
	施策の目標		事業概要	2018実施 計画	2019実施 計画	2020 実施 計画	2021 実施 計画	2022 実施 計画	実施できなかった理由	決算額 (千円)	実施状況	実績	達成状況	
	取り組み内容													
社会福祉課	Ⅲ 男女がともに安心して生活できる環境づくり	99	福祉総合相談ケアシステム	継続	各担当課で受けた相談の中で、包括的な対応が必要なケースについて、できる限り早急に対応できるよう当システムの役割や有効性の理解を深め、活用促進を図る。	継続	継続	継続	継続	部内各課からのコーディネーターの選出を行い、調整会議において支援について包括的に協議を行い対応するとともに、定例会の開催により、情報共有等を図ることができた。	定例会及び調整会議の開催回数	年12回		
	1. 男女間の暴力の根絶		健康福祉部各課のコーディネーターで構成する調整会議を開催し、情報共有や各課が所管する福祉サービスの総合的、包括的協議及び提供により、被害者の支援を行っていく。	0 実施した						達成				
	(2) 暴力の被害をなくすための体制の整備、充実													
① 被害者のための相談体制の充実	年16回（調整会議5回、定例会11回）													
市民課	Ⅲ 男女がともに安心して生活できる環境づくり	100	住民基本台帳事務における支援措置	継続	DV等による被害者からの申出により、加害者からの住民票等の請求に対する交付制限の事務処理を行う。	継続	継続	継続	継続	DV、ストーカ行為、児童虐待及びこれらに準ずる行為による被害者保護のため、住民基本台帳事務による住民票の閲覧・交付、並びに戸籍附票の交付等を本人以外に交付しない制限を行い、正当な理由による第三者請求（郵送含）の審査・交付についても慎重に取り扱った。	支援申出者の措置割合	100%		
	1. 男女間の暴力の根絶		DV、ストーカ行為、児童虐待及びこれらに準ずる行為による被害者の住民基本台帳を、加害者からの不当な事由により利用されることを防止するため、住民票の閲覧・交付、並びに戸籍附票の交付制限を行う。	15 実施した						100%	達成			
	(2) 暴力の被害をなくすための体制の整備、充実													
② 被害者等の情報保護														
健康増進課	Ⅲ 男女がともに安心して生活できる環境づくり	101	思春期講座の開催	継続	市内の小中学校へ出向き、年齢に応じた思春期講話を実施する。	継続	継続	継続	継続	小中学生を対象に実施。4回開催、参加者309人。	年間開催数	2回		
	2. 男女の健康の保持・増進の支援		心身の発達段階に応じた性教育の必要性から、関係機関と連携しながら講座を開催する。	0 実施した						4回	達成			
	(1) 性差に応じた健康支援													
① リプロダクティブ・ヘルス/ライツについての普及、意識啓発														
健康増進課	Ⅲ 男女がともに安心して生活できる環境づくり	102	各種がん検診の実施による早期発見、早期治療の促進	継続	集団検診・医療機関検診を実施し、がんの早期発見・早期治療を促し市民の健康増進を図る。また、がん検診のご案内の送付や、個別の勧奨・再勧奨を行うことで、検診受診の意識啓発を図り、さらに集団検診時に託児日を設け子育て世代が受診しやすくする。	継続	継続	継続	継続	子宮・乳・胃・肺がん検診の集団健診と子宮・乳がんの医療機関健診を実施。（実績）子宮がん集団検診1,132人、子宮がん医療機関検診2,236人、乳がん集団健診2,423人、乳がん医療機関検診722人、胃がん検診2,223人（男827人、女1,396人）、大腸がん検診5,038人（男1,837人、女3,201人）、肺がん検診8,299人（男3,141人、女5,158人）	受診者数	(子宮) 3,400人 (乳) 3,260人		
	2. 男女の健康の保持・増進の支援		女性特有の乳がん・子宮がん検診により、早期発見・早期治療を促す。また、それぞれの集団健診で託児の実施日を設け、子育て世代の女性が受診しやすくする。	51,355 実施した						ほぼ達成				
	(1) 性差に応じた健康支援													
② ライフサイクルを通じた男女の健康支援の充実	（子宮）3,400人（乳）3,260人													

事業担当課	計画書での位置づけ		事業の概要		実施計画（事業内容）					2018年の取り組み			指標の検証				
	基本目標	事業番号	事業名	計画期間 (2018～22) での実施区分	2018実施 計画	2019実施 計画	2020 実施 計画	2021 実施 計画	2022 実施 計画	具体的な実施内容			指標（2018～22）				
	重点課題									実施にあたっての課題・問題点			指標項目	目標値			
	施策の目標		事業概要	2018実施 計画	2019実施 計画	2020 実施 計画	2021 実施 計画	2022 実施 計画	実施できなかった理由	決算額 (千円)	実施状況	実績	達成状況				
	取り組み内容																
健康増進課	Ⅲ 男女がともに安心して生活できる環境づくり	103	マタニティセミナーの開催	継続	妊娠中を健康に過ごすための知識の普及と仲間づくりのための知識の普及と仲間づくりのための講座を開催する。	継続	継続	継続	継続	妊娠中を健康に過ごすための知識の普及と仲間づくりのための講座を実施。年4講座(全3回で1講座)開催、101人参加。	年間開催数	4講座 開催 (全3 回で1 講座)					
	2. 男女の健康の保持・増進の支援		妊婦期間中の妊婦と胎児が安全で快適な生活を送れるよう支援する。														
	(2) 妊娠、出産等に関する健康支援																
	① 妊産婦を対象とした健康教育の充実									109	実施した	4講座 (全3回 で1講座)	達成				
健康増進課	Ⅲ 男女がともに安心して生活できる環境づくり	104	妊産婦を対象とした一般健康診査・指導	継続	妊婦健診費用の一部を助成し受診率を向上させる。また、妊婦一般健康診査第1回目HIV抗体検査を実施する。異常早期発見を図り、妊婦の健康維持を支援する。	継続	継続	継続	継続	860人に妊産婦健康診査受診票を交付。妊娠中及び産後の健康管理に役立てた。また、医療機関から情報提供のあった妊産婦については、保健師が訪問指導等を実施した。医療機関等と連携をより深める。	申請に対する 受診票発行率	100%					
	2. 男女の健康の保持・増進の支援		妊婦健診受診者の費用負担軽減、異常早期発見を図るため、妊婦の健康診査や訪問指導の充実を図る。妊婦一般健康診査第1回目においてHIV抗体検査を行う。														
	(2) 妊娠、出産等に関する健康支援																
	② 妊産婦を対象とした健康支援									64,991	実施した	100%	達成				
国保年金課	Ⅲ 男女がともに安心して生活できる環境づくり	105	妊産婦への医療費助成	継続	県のマル福制度や市独自の神福制度により、妊産婦に対して保険適用部分の医療費の一部を助成する。	継続	継続	継続	継続	県事業のマル福、市独自の神福制度により、妊産婦に対し安全な出産のために医療費の一部を助成した。助成件数：8,613件	対象者への医療費助成率	100%					
	2. 男女の健康の保持・増進の支援		子育て支援や少子化対策の一環として、安心して妊娠・出産できるように、妊産婦に医療費の一部を助成する。														
	(2) 妊娠、出産等に関する健康支援																
	② 妊産婦を対象とした健康支援									42,580	実施した	100%	達成				
防災安全課	Ⅲ 男女がともに安心して生活できる環境づくり	106	地域防災活動への女性の参画	継続	防災士制度のPRを行うとともに、資格取得に係る補助制度の利用促進を図る。	継続	継続	継続	継続	防災士資格取得に係る補助金制度の広報を実施した。	女性防災士への資格取得補助	3名					
	3. 男女共同参画の視点に立った防災・復興体制づくり		自主防災組織における女性の参画を促進するとともに、リーダーに複数の女性が含まれるよう女性の防災士資格取得の支援を行う。														
	(1) 男女共同参画による防災活動の促進																
	① 防災活動に対する男女双方の参画促進									0	実施した	1名	未達成				
防災安全課	Ⅲ 男女がともに安心して生活できる環境づくり	107	女性消防団員の募集及び活動支援	継続	女性消防団員の増員を図るとともに、活動内容の充実を図る。	継続	継続	継続	継続	茨城県及び鹿行地区主催による女性消防団員交流事業に参加。県内の女性消防団員と活動実績等の情報交換を行った。	女性消防団員数	8人					
	3. 男女共同参画の視点に立った防災・復興体制づくり		女性消防団員の増員をするため団員募集を行うとともに、災害時において救護や後方支援活動が行えるよう団員の訓練などを行う。														
	(2) 男女双方の視点からの復興体制の確立																
	① 災害時における復旧・復興の場への女性の参画の推進									0	実施した	6人	未達成				



事業担当課	計画書での位置づけ		事業の概要		実施計画（事業内容）					2018年の取り組み			指標の検証				
	基本目標	事業番号	事業名	計画期間 (2018～22) での実施区分	2018実施 計画	2019実施 計画	2020 実施 計画	2021 実施 計画	2022 実施 計画	具体的な実施内容			指標(2018～22)				
	重点課題			実施にあたっての課題・問題点						指標項目	目標値						
	施策の目標		事業概要		2018実施 計画	2019実施 計画	2020 実施 計画	2021 実施 計画	2022 実施 計画	実施できなかった理由	決算額 (千円)	実施状況	実績	達成状況			
	取り組み内容																
防災安全課	Ⅲ 男女がともに安心して生活できる環境づくり	108	女性や乳幼児が必要な備蓄の充実	継続	女性職員の意見を踏まえ、避難所で必要なものを年次計画で整備する。	継続	継続	継続	粉ミルク(乳児用、フォローアップ、アレルギー)の備蓄を行った。	305	実施した	2箇所	未達成				
	3. 男女共同参画の視点に立った防災・復興体制づくり		避難所生活において女性や乳幼児が必要なものを備蓄する。	継続										継続	継続	配備する避難所の数	10箇所
	(2)男女双方の視点からの復興体制の確立																
	①災害時における復旧・復興の場への女性の参画の推進																
社会福祉課	Ⅲ 男女がともに安心して生活できる環境づくり	109	妊産婦、出産直後の母親、乳幼児などに対応可能な避難所運営マニュアルの整備	継続	女性などの要配慮者に配慮されたマニュアルを整備し、避難所の運営体制を整る。	継続	継続	継続	避難所運営マニュアルの見直しについては、その中で、性別における女性に対する配慮や、妊産婦・乳幼児等への特別な配慮について取り上げ整備したが、施設へのマニュアル設置までには至らなかった。	0	実施した	なし	未達成				
	3. 男女共同参画の視点に立った防災・復興体制づくり		避難所では、性別の違いばかりでなく、特に妊産婦、産直後の母親、乳幼児などにも特別な配慮が必要であり、それらに対応可能な避難所運営の体制(マニュアル)整備を行う。	要配慮避難者がより安心して避難生活を送れるよう、随時改善を図る。										マニュアルを設置した避難所数	10箇所		
	(2)男女双方の視点からの復興体制の確立																
	①災害時における復旧・復興の場への女性の参画の推進																